

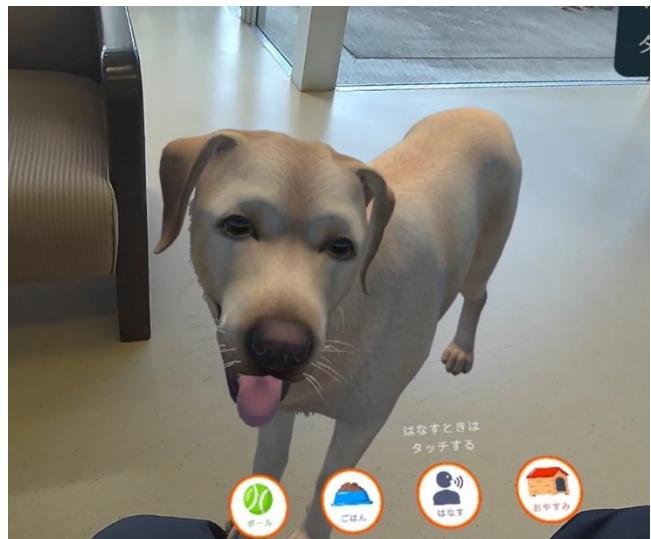
高齢者の“心”を癒すバーチャルアニマルセラピー

開始から1年で30施設が活用

レメディ・アンド・カンパニー株式会社（東京都千代田区 代表：浮田哲州）が提供するMR（複合現実）技術を活用した高齢者施設向けバーチャルアニマルセラピー『いつでもワンちゃん』は、今月7月でサービス開始から1年を迎えます。この1年で首都圏・関西圏を中心に高齢者施設30箇所、施設入居者約300人が体験し、介護現場で高齢者の「心」に寄り添う新たな選択肢として、少しづつ広がってきています。



コンフォールひなせ様（岡山県備前市）



体験者に見える視界（体験者の視界）

■ 高齢者の「心」を支える新しい選択肢に

介護現場では深刻な人手不足が続いているおり、介護労働実態調査によると調査対象となった介護職員全体の52.1%が「人手が不足している」と回答したと報告されています¹。

介護現場からは「人手不足により、日々の食事、排泄、入浴など、日常的なケアで手一杯。心のケアまで手が回らない。」という声を耳にします。

このような現実を踏まえ、テクノロジーを活用して高齢者の「心のケア」を可能にする新たな選択肢として「いつでもワンちゃん」をスタートしました。

■ 1年間の実績、体験者の反応

開始から1年間で、首都圏・関西圏の高齢者施設を中心に30施設で活用され、施設入居者の約300名が体験しています。施設の経営者や職員も含めると体験者は600名以上にのぼります。

▷高齢者の反応

- ・「昔飼っていた犬に会えたみたい、ありがとう」と涙を流す方
- ・ゴーグル越しに犬や猫に話しかけ、自然と笑顔がこぼれる方
- ・障がいによって普段は手を動かすことは少ないが、犬を目の前にすると一生懸命手を動かそうとした方
- ・普段自分からは喋らないが、体験後に自発的にスタッフに声をかけ会話を始める方

¹ 4年度介護労働実態調査 介護労働者の就業実態と就業意識調査 結果報告書

▷施設の経営者や職員の反応・感想

- ・「普段あまり運動をしたがらないので、自分から積極的に手を動かしていくびっくりです」
- ・「介護業界の効率化の本質は、いつでもワンちゃんのように高齢者の幸せを一番に考えることを忘れちゃいけないよね」
- ・「レクリエーションの選択肢が広がって、入居者の笑顔を見る機会が増えた」
- ・「今まで見たことがない入居者の笑顔が見れたから、導入を決めました」

■今後の展望

現状、1都2府8県で活用が広がるいつでもワンちゃんの全国での活用を目指し、高齢者施設での体験会開催や導入施設における成功事例の発信を行っていきます。また、高齢者の「心のケア」をしながら、日常的なリハビリが可能になる新規モードの開発や、これに伴う学術研究にも着手していく予定です。

私たちは今後も、人手不足によりICTの活用や介護ロボットの導入、業務の定型化・分業化が進む介護業界に向けて、

いつでもワンちゃんを通し、「高齢者の幸せ」を本質として追求する必要性を発信し続けてまいります。

■MRアニマルセラピー『いつでもワンちゃん』とは？

- ・VRゴーグルを装着すると、目の前にリアルな犬や猫が現れる。
- ・犬とのふれあいはボール遊び、エサやりなどが可能。
- ・MR（複合現実）技術を活用していることから、周囲も確認できるため安全性の面で安心感がある。
- ・ふれあいを通して高齢者の手先の軽い運動、運動の動機付けに繋がる。
- ・実際の動物によるアニマルセラピーと同等の効果が期待される。
- ・自身の年齢やアレルギー等の問題で犬を飼いたくても飼えない高齢者に、本物のように見える犬との“ふれあい”体験を届ける。

■取材のご案内

本件の詳細や、活用現場での様子などについて、取材や撮影等を随時承っております。
もしご興味をお持ちいただけましたら、下記お問い合わせ先もしくは取材申込フォームより
お気軽にご連絡ください。



取材申込フォーム

■問い合わせ先

レメディ・アンド・カンパニー株式会社（本社：東京都千代田区）

広報担当：木村 彩（きむら あや）

携帯：080-4915-7467

メール：a-kimura@remedy-company.com

〈参考資料〉

- ・いつでもワンちゃん 概要資料

MRアニマルセラピー「いつでもワンちゃん」について

特徴

- ・高齢者の「心のケア」をサポートします
- ・VRゴーグルを装着すると現実の空間に犬や猫が現れ、本物の動物とふれあうような体験ができる
- ・VRゴーグルを装着しても周囲を見渡すことができる（VR技術ではなくMR技術を活用しているため）
- ・バーチャルであるため、アレルギーや衛生面の心配がない
- ・画面上のボタンや、ハンドサインによってワンちゃんと遊べる（エサやり、ボール遊びなど）
- ・VRとタブレットを連携し、利用者の操作サポートが可能（難易度の調整も可能）
- ・利用後に気分がリフレッシュされることが確認されており、動物によるアニマルセラピーと同様の効果が期待されている*

解決する課題

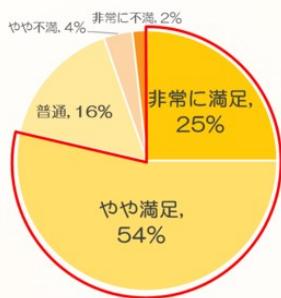
- ・入居者との会話のきっかけが欲しい
- ・日々似たようなレクリエーションになりがちで、新しい選択肢が欲しい
- ・入居者のアレルギーや衛生面を考えて、実際の動物によるアニマルセラピーができない

導入のメリット

- ・入居者に癒しを届け、孤独感の解消が期待できる
- ・動物が好きな方は自然と笑顔や会話が増える
- ・ワンちゃんとのふれあいによって、手先の軽い運動の動機付けに繋がる
- ・施設職員と入居者の会話のきっかけ作りができる

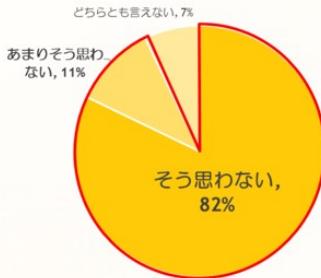
体験者アンケート

「いつでもワンちゃん」の満足度はいかがでしたか？



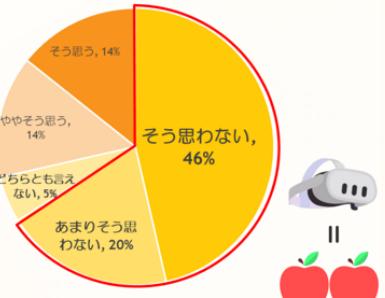
全体の約80%の方が満足と回答
(非常に満足、やや満足)

体験中、気分は悪くなりましたか？



安全にご利用いただけるよう設計しているため、
VR酔いを感じる方はほぼいません。

VRゴーグルは重たく感じましたか？



VRゴーグルは一番軽量な機種を使用。
Meta Quest3の重さは515g=りんご約2個分

価格

1か月3960円※税込
(別途初期費用 + デバイス代 + 送料) ~

参考サイト



【公式HP】



【デモ動画】

*73名（男性25名、女性46名、無記入2名、 46.5 ± 19.1 歳）に体験前後の気分調査票によるアンケートを行った結果、いつでもワンちゃんを体験した後では気分評価票の下位尺度である疲労感、抑うつ感、不安感の点数が有意に低下し、爽快感は有意に増加した。先行研究で実際の大型犬とのふれあいの前後の気分調査が行われているが、類似した効果がみられており同様の心理的効果が得られことが期待される。（理学療法科学 39 (suppl-3) P-2-1. 「Mixed Reality技術を活用した動物介在療法が使用者の気分へ与える即時効果」）

MRアニマルセラピー「いつでもワンちゃん」について



開発担当：板倉

「昔飼っていた犬を思い出し、懐かしい気持ちになった」「また会いに来たい」といった言葉をご利用者様から直接いただけたことが、日々の励みに繋がっています。開発にあたって、操作性をあげたり、犬の動きのリアルさを追求することが想像以上に大変でしたが、年齢に関係なくご利用者様の遊び心や喜びを引き出せるという「いつでもワンちゃん」が持つ力を感じたたびに自分の仕事の意義を感じます。

「いつでもワンちゃん」は懐かしさや安心感を感じられるだけでなく、日常にちょっとした喜びや活力を届けられる存在になれると信じています。今後もより多くの方に活用いただけるよう、操作性やユーザー体験のさらなる向上に取り組んでいきます。



営業担当：土屋

あるご高齢の方が、『いつでもワンちゃん』を体験されて「数年前に亡くなったペットを思い出す」と仰って涙を流されたことが今でも心に残っています。『いつでもワンちゃん』は、誰かにとっての幸せを思い出させ、心を動かすことができるサービスであることを、皆様の反応を通して日々実感しています。施設スタッフの方にVRゴーグルやMRといった新しい技術を説明することに難しさを感じる場面もありますが、体験されたご利用者の方の笑顔を見て、その価値を実感してもらい、誰かに「癒し」を提供できた時には嬉しさを感じます。『いつでもワンちゃん』には、「癒し」を超えて、認知症予防やリハビリ、コミュニケーション促進など、多様な可能性も秘められています。今後は、エビデンスの構築も行いながら、より多くの方の心に寄り添い、笑顔や生きがい、そして「癒し」を届け、QOL（生活の質）向上に貢献できれば幸いです。

介護現場での体験会や活用の様子



介護付き有料老人ホーム
(東京都台東区)



介護付き有料老人ホーム
(東京都練馬区)



介護付き有料老人ホーム
(岡山県備前市)

当社について・当社が目指すもの

レメディ・アンド・カンパニーはヘルステックを推進する日本発のグローバル企業です。

元々は製薬企業の臨床試験を支援する医薬品の開発支援をメインの事業とし、臨床試験の技術や知識、アジアでの臨床試験環境の構築、サービス対応地域はアフリカ地域まで拡大してきました。

2022年には、新規事業として「デジタル部」が新たに発足し、医薬品開発支援では解決できなかった介護や福祉が抱える課題に対して、テクノロジーの力を活用し解決するため、新たな歩みを開始しました。

その一歩目がまさに高齢者施設向けに開発した「いつでもワンちゃん」です。

社名の”Remedy”にもある通り、高齢者の方々にいつでもワンちゃんで、今までになかった価値と体験を通して“癒し”を届けることを目的にしています。

人手不足によってICTやロボットによる効率化が叫ばれる昨今、「被介護者の幸せ」を考える視点が置き去りにされがちになっていると考えます。

様々な効率化を図るシステムが新しく生まれていますが、介護施設で行われるレクリエーションについてはここ数年真新しいものはほぼ生まれていません。

当社は、いつでもワンちゃんが一つの起爆剤となり、“日本国内の高齢者介護のあり方”を見直すようなそんなきっかけを作りたいと思っています。

グループ会社：株式会社インテリム(CRO事業)、ジョップス株式会社(PV事業)、iRIS株式会社(SMO事業)、
レメディ・クロスリアリティ株式会社 (DX事業)

海外拠点：7カ国（韓国、台湾、ベトナム、タイ、マレーシア、バングラデシュ、オーストラリア）

公式HP：<https://www.remedy-company.com/>